

2/13 第2回 埼玉県との定期協議

2025年度埼玉県への要望に対する回答を受領しました



埼玉県消費生活課田中康博課長(右)から回答を受領しました

7月の定期協議で埼玉県に提出した「2025年度埼玉県予算編成および行政執行に関する要望」に関する回答と2024年度実施の生協指導検査について、埼玉県から報告がありました。生協連からは生協連および会員生協の取り組みについて報告しました。

1/18 4都県生協連共催企画

「みんなどうする?～多様な活動から未来を考える～」



登壇者と会場参加者で意見交換

今回で4年目となる4つの都県生協連(東京都生協連・千葉県生協連・神奈川県生協連・埼玉県生協連)共催による学習会では、フォトジャーナリストの安田菜津紀さんをファシリテーターに、幅広い年代、多様な価値観や背景を持つ人々と課題を共有しながら、発信や社会活動を進めている皆さんからお話をお聞きし、活動の中で大切にしていることなどを手掛かりに、これからの社会の「かたち」を考える場となりました。

1/24 日本チェーンストア協会による 埼玉県生活者懇談会

消費者からの質問や意見に回答いただきました



あいさつする柿沼トミ子埼玉消団連代表幹事

懇談会には埼玉県の消費者14団体21人、埼玉県消費生活課3人、日本チェーンストア協会から13団体24人が出席しました。この懇談会は、日本チェーンストア協会関東支部主催で、埼玉県での開催は7年ぶりとなりました。



3/14 埼玉省委託事業インターネット適正広告推進事業

「インターネット広告の落とし穴～その商品、本当に買って大丈夫?～」をテーマに講座開催

県立狭山経済高校1・2年生を対象に、景品表示法啓発講座を実施し、教職員含め401人が参加。消費生活相談員の鎌田伊津子さんを講師に、契約の基本ルールやインターネットで買い物をするときに確認しておきたいこと、トラブルにつながりやすい運用広告やターゲティング広告について、クイズを交えて学びました。SNSを通じた副業・投資トラブルの実例を交えながら、被害防止を伝えました。

11月～2月 埼玉県議会各会派との懇談

5会派29人と懇談しました



12月17日 埼玉民主フォーラムとの懇談

生協への理解を深め、意見交換を行う場として埼玉県議会各会派との懇談を実施しました。懇談では、会員生協の活動状況や2025国際協同組合年に向けた取り組みについて報告し、災害発生時の対応に関する意見交換などを中心に懇談を行いました。

2/10 埼玉県食品衛生安全局と 消費者団体の懇談会

埼玉県食品衛生監視指導計画などについて 懇談しました



令和5年度における食品衛生監視指導結果および令和6年度12月までの結果と令和7年度の監視のポイント、小林製菓の紅麹を含む食品に係る健康被害事案について、国内および県内の鳥インフルエンザ発生状況と発生時の対応の流れ、防止対策についてなど県の担当部局から説明いただき、懇談しました。

1/20 埼玉省委託事業 県内消費者団体地区別研修会③

「自分らしく生きていけるまちづくり～小川町での有機農業を起点とした取り組みから～」



NP0法人生活工房「つばさ・游」理事長 高橋優子さんを講師に、小川町でのさまざまな取り組みについてお話いただきました。このほか、11月～2月まで、4つのテーマで、各地で研修会を開催しました。

SAITAMA
2025 春号
No.93
(2025年4月発行)

県内生協の活動を写真で伝える情報誌

写真ニュース



埼玉県マスコット「コバトン」「さいたまっち」

Top News

1/23

埼玉県生協連新春賀詞交換会 県内各界の皆様61人に 出席いただき、懇親を深めました



吉川尚彦会長理事



大野元裕埼玉県知事



埼玉県議会議長代理 関根信明総務県民生活委員長



日本被団協 田中熙巳代表委員

埼玉県生協連への日頃のご厚情に感謝を伝え、生協への共感を広げるとともに、ネットワークをさらに深めることを目的に、ロイヤルパインズホテル浦和ゴールドルームで開催しました。開会にあたり、吉川会長理事は、2025年の課題から2025国際協同組合年と被爆・終戦80年の取り組みの2つを紹介。「地域ネットワークの力」で、SDGsの実現、地域の課題解決を進めること、被爆証言等のデジタル化などにより、被爆者の証言を広く社会に発信したいと、今年の抱負を述べました。その後、ご来賓を代表して大野元裕知事、埼玉県議会議長代理 関根信明総務県民生活委員長、日本被団協代表委員田中熙巳さんよりごあいさついただきました。

2/14 組合員活動交流会

多様な「居場所」について、考え、交流しました



コープみらい、パルシステム埼玉、生活クラブ生協、医療生協さいたま、生協・さいたま高齢協の5生協44人が参加して開催。テーマを「居場所」とし、三郷市早稲田地域で空き家を活用した交流の場とコミュニティづくりについて、さまざまな団体や行政と連携しながら取り組んでいることを報告いただきました。報告後、7グループに分かれて、「今困っていること」「どんな居場所をつくりたいか」などについて、意見交流し、あわせて、参加者の意見がリアルタイムで共有できる「Slido」を使って、それぞれの思いや意見を入力してもらいました。

2/17 JA埼玉県女性組織協議会との 第30回早春交流会

「2025国際協同組合年と私たち」をテーマに 学習・交流しました



第30回早春交流会を、埼玉県信連大里分館会議室(熊谷市)で開催し、JAから9組織26人、3生協31人、計57人が参加し、学習・交流しました。JA埼玉県女性組織協議会と埼玉県生協連の交流会は、30回目を迎えた今年、2回目の国際協同組合年にあたることから、「2025国際協同組合年」をテーマに、学習、交流しました。



国際協同組合年

協同組合はよりよい世界を築きます



写真ニュース
バックナンバーは
こちら



埼玉県生協連
ホームページは
こちら

co-op 埼玉県生活協同組合連合会

生活協同組合コープみらい

幼稚園・保育園・児童養護施設
などの子どもたちへ
「よみきかせ絵本」を寄贈



読み聞かせの様子

コープみらいは、日本生活協同組合連合会などが開催する「みんなのよみきかせ絵本大賞」に賛同し、昨年11月より、埼玉県内の保育施設等384施設に、新刊絵本20冊をセットにして寄贈しました。施設では、実際によみきかせ、子どもたちの反応や先生の意見を踏まえ、1冊に投票いただき、投票数が最も多かった絵本を大賞として10月に表彰予定です。「よみきかせ」に最高な絵本を、みんなで選ぶことで「絵本のよみきかせ」のすばらしさを伝え、「絵本のよみきかせ」の文化を広めたいと考えています。

生活協同組合パルシステム埼玉

産直産地
「沃土会(よくどかい)」で
ねぎ祭りを開催



2月8日(土)、深谷市にある産直産地「沃土会」でねぎ祭りを開催しました。14組40人の参加者が、深谷ねぎの収穫体験を行いました。ねぎの重さ当てクイズ、炭火で焼いたねぎの一本焼きの試食や生産者との昼食交流も行われ、参加者は沃土会の魅力を体感。クイズの成績上位者には豪華プレゼントが贈られました。参加者からは「収穫体験が最高に楽しかった!」「ねぎが甘くておいしかった!」など好評の声が多く寄せられ、大盛況の企画となりました。

生活クラブ生活協同組合

浦和・所沢・越谷の
3つのデポー(店舗)で
「にかほフェア」開催



2/21(金)に、「夢風」という名前の生活クラブの風車がある秋田県にかほ市から、生産者がデポーにやってきました。風車「夢風」は、生活クラブエナジーに電力を供給する発電施設で、契約している組合員にはその風車で作った電力も供給されます。「電気代を払う×電気を供給する」だけの関係ではなく、地元産品も知って利用する機会が「にかほフェア」。にかほ市の自治会の方々や生産者と、私たちが持つ食べる力と利用する力で、脱炭素・脱原発・再生可能エネルギーが広がる社会をめざし、さらに今後も交流を深めていきます。

医療生協さいたま生活協同組合

宣伝行動で
「保険証を残して!」



2024年12月2日(月)、「現行の保険証を残して!」と組合員・職員が宣伝行動を行いました。埼玉県保険医協会と合同で約100人が参加して、県内9カ所で署名やシール投票を呼びかけました。参加した組合員からは「国に対して怒っている人が多い」「マイナ保険証は不安で申請していない人が何人もいた」「今までの保険証も使えることを知らない人がいる」などの声がありました。これまでの健康保険証が原則廃止され、医療・介護現場は大混乱しています。受療権を守り混乱を回避するため、引き続き従来の健康保険証を残すよう求めています。

さいたま住宅生活協同組合

「地区別総代意見交換会」で
さまざまな声が
寄せられました



コロナ禍の間、一時開催を控えていた「地区別総代意見交換会」を再開しています。2024年度は、県内を7ブロックに分け、各地区の総代や組合員に声をかけ、さいたま住宅生協の運営やこれからの活動の方向性について、事務局と意見交換を行いました。延べ36人の総代・組合員に出席いただき、生協運営に関する課題の指摘や高齢社会の中での住宅生協活動に関する期待など、活発に意見が寄せられました。

こくみん共済 coop〈全労済〉

第51回
「小学生作品コンクール」を
実施しました



こくみん共済 coop〈全労済〉は、社会貢献活動の一環として子どもたちの豊かな心の成長を願い、1973年から小学生を対象とした作文・版画のコンクールを開催しています。今回のコンクールには埼玉県内の小学校から作文・版画の両部門あわせて902点の応募をいただき、「埼玉県知事賞」「こくみん共済 coop 埼玉推進本部長賞」をはじめとした各賞を選定しました。また、表彰式を2月15日(土)に開催し、緊張の中でも笑顔に満ちた子どもたちと貴重な時間を過ごすことができました。

生活協同組合・さいたま高齢協

映画上映会
『わたしのかあさん 天使の詩』
開催



共生社会が求められている中、知的障がい者の課題をテーマとした映画『わたしのかあさん 天使の詩』の上映会を地域の諸団体(計11団体)と800枚の案内チラシを配布するなど、力を合わせて取り組みました。2024年12月18日(水)に三郷市文化会館で上映され、計447人の参加がありました。最近では映画館の閉館が相次ぐ中、よい映画を自主的に上映できることがわかり、大きな成果となりました。映画上映会は12月1日(日)に所沢市でも開催され、さいたま高齢協は上映に協力しました。

跡見学園女子大学生生活協同組合

学生委員会
「COOP-GIRLS」主催
「入学準備説明会」を開催しました



2月22日(土)、文京キャンパス教室にて、入学予定者72組118人の参加で説明会を開催しました。COOP-GIRLS(学生委員)19人が先輩学生として、全体説明、COOP-GIRLSの活動紹介、入学準備にあたって、免許・勉強・服装その他について、大学生活での生協利用・パソコン・交通機関など、今春卒業生の就活体験などについて説明しました。また、学科ごとの交流として、先輩学生が質問に答えたり、自分の大学生活について話しました。参加者からは、説明がわかりやすく、自分が知りたいことがわかった、ていねいな対応で、入学前の不安がなくなったなどの声が寄せられました。